

キノコの発酵能を利用した美白エキスと、それを配合した化粧品の開発

【ヘルスビューティー株式会社】

1. 事業者の概要

社名：ヘルスビューティー株式会社

所在地：〒604-8006 京都市中京区河原町通二条下る二丁目丸屋町 403 番地

代表者：代表取締役 杵田 征彦

設立：平成 16 年 11 月 22 日

資本金：30 千円

従業員数：1 人

業種：無店舗小売業

主要取扱商品：マイルドソープ、スキンローション、保湿ジェル、保湿クリーム、健康食品

電話・FAX：075-555-3411・075-320-2037

URL：http://www.timothea.co.jp

E-mail：sugita@hbeauty.jp

2. 事業の概要

〔事業区分〕

設備投資＋試作開発

〔事業類型〕

医療・バイオ

〔テーマ〕

キノコの発酵能を利用した美白エキスと、それを配合した化粧品の開発

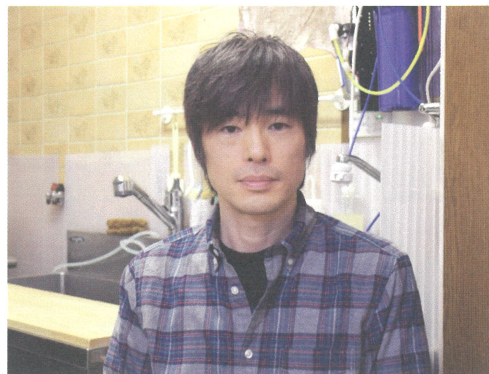
〔目的〕

アトピーでも使用できる低刺激な美白エキスと、それを含んだ美容液の開発を行い、今まで満たされなかったユーザーのニーズに応えつつ、アトピー向け化粧品というニッチな市場に競争力のある商品を早期に投入する。アトピーに起因する敏感肌に悩むユーザーに福音を届ける。

3. 事業の内容

〔事業取組みの経緯〕

社長ご本人の肌が弱く、アトピーの体質で困っていた。10 年前、「ティーツリー」や「アカマツ」に炎症を抑える効果があることがわかり、国会図書館にこもって論文を読み漁った。その結果アトピーの肌に適した保湿剤を開発、製品化して会社を興した。4 年前、奥様の病後、衰弱が黒大豆で治ったことから、黒大豆を用いて健康食品を作ろうと思い立ち、発酵食品をいろいろ調べていたら、「きのこの菌」にたどり着いた。再び国会図書館にこもって論文を調べると、農学博士の松井教授がきのこを利用した発酵研究の第一人者であるこ



杵田社長

とがわかり、松井先生のところに通い、指導を受けた。乳酸菌や麹を使う発酵食品は多数あるが、きのこ菌の発酵を利用する商品は少ない。きのこ菌の発酵物は抗酸化作用が大きいので、アンチエイジングに利用できる。またメラニン色素発生を防ぐ成分があるため、美白に使えないかと考えた。二百種類以上のきのこを発酵させてテストした結果、スエヒロタケが一番効果のあることがわかった。丁度ものづくりの補助金が始まり、これを利用して設備と試作開発を行える環境が整った。

[実施内容]

設備した主要な装置は、きのこ菌を培養する「インキュベーター装置」、きのこ菌を乾燥する「乾燥機」、それを細かく砕く「粉碎機」、粉碎した粉からエキスを抽出する「抽出タンク」からなる。これらの装置は簡易的クリーン環境のクリーンブースの中に設置されている。試運転のあと、スエヒロタケを使った培養を行い、試作テストを行った。

4. 事業成果

[競争力強化の形態]

ニッチ分野特化

[基盤技術の活用等]

発酵

[事業取組み成果]

設置後、スエヒロタケを基菌として培養し、エキスの抽出に成功した。テスト結果、美白効果が確認できた。

[他社との差別化の実効度合]

きのこ自体から化粧品原料を作るという研究は他社でも行っているが、「きのこの発酵物」から化粧品材料を作るというのは他社では見られない。また、きのこ発酵研究の第一人者である松井教授と技術顧問契約を結んでいるため、当該技術の研究開発については、今後も他社との差別化を維持できる。

[今後の主な活動予定]

今期中は試作テストを繰り返し、最適条件を見つけたうえで、美容液とジェル化粧品として商品化する予定である。

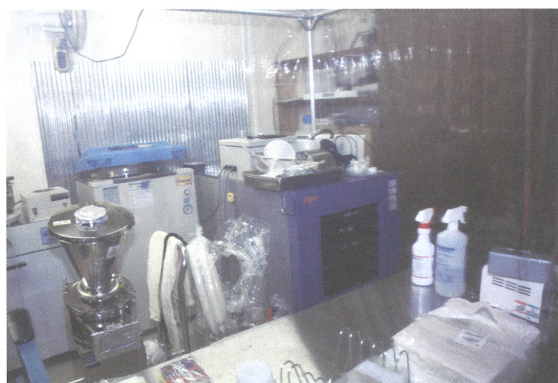
新しいブランドを立ち上げる予定である。

販売（売上）計画

経過年数 3 年目（28 年度）：30,000 千円

経過年数 4 年目（29 年度）：40,000 千円

経過年数 5 年目（30 年度）：50,000 千円



導入設備



試作品